

## イギリスの教育の動き

－2000年8月から2001年7月まで－

佐々木 毅 （国立教育政策研究所）

2000年

<8月>

1日、ジャッキー・スミス学校水準担当政務次官は教員組合の一つであるPATに対し、校長の児童生徒を排除する権限を強化すると語る。2日、ブラックストーン教育雇用閣外相はデヴィッド・シャーロックを成人学習視学団ALIの首席視学官に任命することを発表した。9日、スミスは中等学校での学習に備えるリテラシーおよびニューメラシー夏季学校が1,800校、英才夏季学校が500校と記録的に増加したと発表した。23日、エステル・モリス学校水準担当閣外相はGCSEおよびGNVQの第1部試験の結果について受験生たちに祝意を述べた。31日、マルコム・ウィック生涯学習担当政務次官はニュー・ディールが失業中の若者たちの就職援助に成功しつつあると発表した。モリスは教育費のもっと多くの部分が学校に直接交付されることが望ましいと発言した。

<9月>

1日、モリスはグラマー・スクールをめぐる投票に関する法律（学校水準・大綱法）への改正要求を拒否した。また下院の教育・雇用委員会が教育事業における私的部門の役割の重要性を認めたことを歓迎した。7日、モリスは14か所の新しい小規模な教育改善行動地域E A Zの指定を発表した。12日、ブレア首相、ブランケット教育雇用大臣は親たちが教育における水準の引き上げに重要な役割を有していると言明した。15日、ブランケットは最初の3つのシティ・アカデミーの設置場所を発表した。19日、スミスは学校における親理事の全国的なネットワークが教育における親の全国的な発言の場となるであろうと述べた。20日、ブランケットはキー・ステージ・テストの結果インナー・シティーの学校における基礎学力が相当に改善されてきたことがわかったと述べた。またニュー・ディールの成功の上に、完全雇用への政策を追求すると語った。26日、ブレアはスペシャリスト・スクールのために2800万ポンドの新たな支出を行い、2004年9月までにその数を1,000校にするという目標を発表した。また中等教育におけるICT推進のための10億ポンドの支出を明らかにした。27日、ブランケットは2004年9月までにあらゆる3歳児が親が望む場合は無償の幼児教育を受けられるようにすると発言した。また基礎的なリテラシー／ニューメラシーをもたない成人の教育のために1億5千万ポンドを支出することを発表した。

<10月>

4日、マイクル・ウィルズ学習・技術担当政務次官は新しいテクノロジーが7-11歳の児童の成績の改善に役立つことが明らかになったと述べた。教育水準局OFSTEDは薬物教育についての

報告書を発表、多くの学校が一貫した教育方針をもっていると評価した。5日、モリスは合衆国と英国の学者たちに最もよい成績を上げている学校と最悪の学校の間の教育上のギャップはあまりにも大きく、両国の最善の実践の交流によって解決を図る必要があると強調した。Eメール・アドレスをもつ教師たちが19万人に達し、中等学校では過半数になったとモリスが発表した。6日、OFSTEDは学校財政をめぐる新しいガイダンスを発表した。またALIとの間で16歳以降の教育（高等教育と職業訓練を除く）をめぐる共通の視察枠組みについての協議に着手した。ブランケットはブラッドフォードのムスリム学校を公的部門として承認する意向を明らかにした。ブラックストーンは全国学習目標年次報告書の発行を歓迎した。9日、マーガレット・ホッジ雇用・機会均等担当政務次官は2004年までに160万人の子どもたちを保育できるよう定員を拡大すると発表した。12日、ハリンゲーとミドルズブラに2校のシティ・アカデミーが設置されることが発表された。ブラックストーンはGCSEを好成績で取得する生徒が全体の半数近くに達し、取得せずに学校を去るものの数が減少していると発表した。16日、ブランケットは中等教育を現代化し、水準を押し上げるために「都市における卓越性」への資金提供を発表した。また学習技能評議会の全国評議会のメンバーを発表した。17日、OFSTEDは任意制の青年組織が青年たちの生活を充実させているとの報告書を発表、教育雇用省DfEEもこれを歓迎した。19日、ブランケットとストロー内務大臣は無断欠席に対する支出の増加を受けて、全国的な取り締まりの強化を発表した。20日、ブランケットは教師に対する業績給が軌道に乗ったと発表した。23日、ブランケットはイングランドの16のパートナーシップが青年を対象とする生活支援の取組であるコネクションズによる資金提供を受けるだろうと発表した。25日、ホッジは保育学校サービスを後押しするための7百万ポンドを発表した。26日、モリスは教室で教師たちを支援するための資金援助を発表した。27日、OFSTEDはエスニック・グループの間で教育における水準の上昇についてのむらが見られるという委託研究の成果を発表した。

## <11月>

1日、ブランケットは政府の学級規模についての公約が達成間近であると発表した。ウィルズは教室へのICTの貢献を示す証拠を歓迎する。ブラックストーンは継続教育の水準に対する後押しを発表する。2日、首席勅任視学官HMC Iであるクリス・ウッドヘッドの辞職の意向と、彼のこれまでの貢献に対するブランケットの謝意が明らかにされた。ウッドヘッドは2001年2月末までの在任の意向であったが、11月末までの在任となった。モリスは2つのLEAの間の革新的なパートナーシップを歓迎した。6日、ウィックスは教育学研究が責任のあるものであるべきだと強調する。7日、ブランケットは薬物教育プログラムへの支出を増加させると発表した。ホッジは早期の発達と保育のパートナーシップの支援のために専門家を募集していると述べた。8日、学校建築の修繕と更新のための施設費が次年度の予算の重要な要求項目になると発表された。ブランケットは子育て中の離婚した片方の親のための新しい職と支援の拡大を援助する計画を歓迎した。全国Eー学習財団への5百万ポンドの資金提供は子どもたちへのラップトップの供給に役立つだろう。学習・

技能評議会への10億ポンドの後押し。9日、ジプシー・トラヴェラーの児童生徒の教育水準引き上げを目指す教育事業が発表される。15日、子どもたちが貧困から抜け出すのを援助する4億5千万ポンドの投入が発表された。16日、中等教育の水準の引き上げのためLEAに対し8200万ポンドが交付される。ブランケットは新しいHMC Iとして暫定的にマイク・トムリンソンを内部昇格させることを発表した。中等教育に関するリーグ・テーブルによると<都市における卓越性>指定地域の学校とスペシャリスト・スクールの水準の向上が平均を上回っていることが明らかになった。ブランケットは2003-04年度までに高等教育への約10億ポンドの資金提供を発表した。また地方のコミュニティのリニューアルには住民の生涯学習によるスキルの開発が重要であると述べた。17日、ウィリスは全国学習網NGFLの将来の発展のための研究が行われることを発表した。スミスは学校理事団体の義務と責任に対する協議に着手した。モリスは8年間で初めて教員養成への応募が増加し、2000人以上が希望していると述べた。24日、スミスは貧しい児童生徒に対する取り組みにあっては、LEAが多部局にわたるアプローチを採用することが重要であると述べた。28日、OFSTEDは全国リテラシーおよびニューメラシー戦略は政府の目標を射程範囲にとらえたと発表する。このうち読み方については「変容」が認められたものの、書き方についてはまだ改善の余地があるとの評価を受けて、ブランケットは書き方の教育推進のためのビーコン・スクールの指定を発表した。ブランケットは農村部の小規模な学校はコミュニティの心臓であり、政府の働きかけによってその閉鎖が減少していると述べた。30日、モリスは34校の芸術およびスポーツを強調するスペシャリスト・スクールの指定を発表した。

### <12月>

1日、新しいHMC Iに1年間の任期でトムリンソンが就任した。OFSTEDはリヴァプールの教育当局の事業が大幅に改善されたという報告書を公表、モリスもこれを歓迎した。モリスはまたフレッシュ・スタート学校に対するより厳しい規則の詳細を明らかにした。ブランケットは常習性の無断欠席者の親に対する罰則を強化すると述べた。6日、国会の開会に当たって女王による演説が行われた。施策の重点は犯罪の防止と保健に置かれているが、住宅問題と教育をめぐる重要な法案が予告された。特別の教育的ニーズと障害をめぐる法案についての発表をブランケットは歓迎した。7日、ブランケットはNLSおよびNNSの結果として初等学校の成績一覧表に水準の改善が示されたことについて関係方面に祝意を述べた。またモリスはNLS、NNSへの財政的な援助を明らかにした。13日、ブランケットは学校におけるいじめ防止戦略に着手し、被害者は黙って苦しんでいてはだめだと述べる。またブランケットはストロー内務大臣とともに、若者向けの市民生活のガイドブックである『若い市民のためのパスポート』の改訂版を発表した。ウィックスは第6年級への資金提供についての専門的諮問文書の内容を明らかにした。14日、ブラックストーンはALIの7人の委員の任命を発表した。ブランケットとモーラン内閣府長官は学校における不必要な書類作成と事務的な雑用の削減について相当な成果があったと発表した。ブラックストーンは

OFSTEDの16～19歳の教育と訓練をめぐる視察報告書を歓迎した。18日、モリスはヒリンドンに開設されるシティ・アカデミーが生徒と家族に高度な技術を学習する可能性を切り開くだろうと述べた。DFEEは7,400人も多くの教師たちがイングランドとウェールズの学校で職を得ていると発表した。20日、モリスは25人以下の学級で学ぶ幼児が増加したと発表した。21日、マイクル・バーバーが水準・有効性ユニットの局長に任命された。

## 2001年

### <1月>

3日、スミスは学校における無断欠席と規律を欠いた状態と取り組むための補助金の増額を発表した。5日、試験の結果が劣悪な学校の水準引き上げを援助する補助金が発表された。9日、スミスは学校理事の仕事を援助するための全国的な助言のラインを発足させた。10日、ウィルズは学校のためにICT教育振興の資金を発表した。11日、スミスは中等学校の成績一覧表の記録の仕方を改めることを発表した。23日、スミスは黒人とインド亜大陸系の生徒たちのGCSEの成績が大幅に向上したことを歓迎した。24日、モリスは学校におけるメンターの増加を歓迎する発言をした。ブランケットは教育の主流に職業教育をもち込むための支援を産業界に対して勧める発言をした。26日、モリスは都市における成績不振の改善にむけて14か所の新しい小規模なLEAを発表した。31日、OFSTEDの報告書『学校改善へのLEAの支援』が発表され、LEAの業績にはばらつきがあると指摘した。地方政府連合LGAはこの報告書がLEAが政府の施策を実施する際に直面している困難を強調しているとして歓迎の意を表明した。

### <2月>

1日、ブランケットは「卓越性への挑戦」の範囲を広げると発表した。6日、OFSTEDは、イングランドの学校における教授とリーダーシップの質は改善されており、生徒の水準も上昇しているが、学校間の格差をせばめるためにもっと多くの努力が必要であるとの年次報告書『1999/2000年度版 教育における水準と品質』を発表した。9日、モリスは全国校長連合NAHTの全国大会で水準の上昇への校長たちの取組を賞賛した。ブランケットは教育とビジネスの連結を強化する財政的な措置をとると発表した。12日、教育緑書『学校：成功の増設』が発表された。13日、OFSTEDは新しい視察の対照となる最初の5校の継続教育カレッジを発表した。22日、十代の母親たちにチャイルドマインダーたちが援助を行うことが取り決められた。28日、教育雇用省により無断欠席への取組で、先駆的な成果を挙げている学校の経験が紹介された。

### <3月>

1日、ブレアとブランケットは成人の間に見られる貧弱な読み方と数学のスキルの改善のために3年間にわたって少なくとも15億ポンドを支出すると公約した。5日、OFSTEDはEAZの有効性と学校への影響力はこれまでのところまちまちであるという報告書を発表したが、モリスは教

育における「水準の向上している」E A Zがあることを歓迎する発言を行った。7日、O F S T E DとA L Iは16歳以後を対象とする教育・訓練機関の視察のための共通枠組みを公表した。30日、小規模学校の維持のための年額8千万ポンドの基金が3年間にわたり継続されると発表された。ブランケットはAレベルの数学を履修しない生徒を対象とする新しいA Sレベルのコース〈数学の利用〉の新設を発表した。

#### <4月>

デヴィッド・ノーミントンがマイクル・ピチャードの後任として教育雇用省の事務次官に就任した。2日、ブレアは5月3日に行われるはずだった地方選挙が口蹄疫のため6月7日に延期されると発表した。ブランケットは1997年以来700校以上の失敗校の教育が改善されたと発表した。モリスは300校以上の初等学校が2001年の学校達成表彰を受けることになると発表した。4日、ブラックストーンは大学卒業者に対する求人はい順調であると発表した。3日、O F S T E Dは保育の水準についての報告書を発表する。スミスはこの報告書を歓迎した。6日、ブランケットは初等学校の30人以上の学級は減少しているという数字を歓迎した。11日、ブラックストーンは大学への応募者の増加を歓迎した。14日、ブランケットは生徒の教育をめぐる紛争で教師からの事情聴取当の手続きを早め、職場にできるだけ早く復帰できるよう配慮すると全国教員組合N U Tの大会で言明した。14日、ブランケットは学習メンター、地方親支援と厳しい目標の設定が〈都市における卓越性〉の中でエスニック・マイノリティーの成績を引き上げるのに不可欠だと述べて、そのための資金を発表した。18日、ジョウエル、ウィルズらが女子生徒のI C T学習を推進するためにD f E Eと通産省D T Iが合同で学校に女子だけのコンピューター・クラブを設置することを後押しすると発表した。ウィックスは訓練への記録的な出費を歓迎した。20日、教師の数が過去16年間で最大であることが発表された。23日、モリスは校長になるための訓練を受けている教師の数が増加したことを発表した。30日、ホッジは求職者手当てを受けている人々と近隣保育所を利用している親たちのリテラシーとニューメラシーを確認し改善するために役立つ新しいアプローチの詳細を明らかにした。

#### <5月>

1日、ブランケットは労働党系のシンクタンクであるI P P Rでの演説において労働党が政権を担当した4年間のうちに教育改革に前進し、中等教育の現代化への準備をなし遂げたと語る。この日、チャイルドマインディングについての調査報告書が公表され、全国チャイルドマインディング連合はチャイルドマインディングの重要性にもかかわらず、政府の取り組みには不十分な点があって改善を要するとの見解を明らかにした。3日、モリスはペッカム・シティ・アカデミーの計画を歓迎した。ブラウン蔵相、ブランケット他の政府首脳はボランティア活動を奨励し、コミュニティーを支援するための政府省庁横断の取組のための1億3千万ポンドの予算が積極的な市民性を

育てるのに役立つだろうと発表した。OFSTEDは視察にまつわる雑用を減らすための計画を発表した。4日、ブランケットは1999/2000年度に学校から排除された児童生徒の数が約2千人減少したことを歓迎した。OFSTEDは中等カリキュラムに関する視察と自己評価についての新しいガイダンスを発表した。7日、イングランド児童権利同盟は若者たちの意見が来たるべき選挙で反映されるようにと要求を行った。8日、女王が下院を解散するという布告に署名した。ウィルズはオンライン学習設備であるランダイレクトが世界中の32のプロバイダーと比較して遜色がないという調査結果を歓迎した。ブラックストーンは地方学習のための4千万ポンドの後押しを発表した。またブランケットはユース・サービスへの2千万ポンドの後押しを発表した。スミスは政府の学校、カレッジ及びビジネスにおける外国語学習を振興する新たな段階を発表した。OFSTEDは政府のICTイニシアチブの十分な影響力が発揮されるのにはまだ時間がかかるという中間報告書を発表した。9日、ブラウン蔵相は「今後10年間における英国のための十大目標」の一つとして「教育における卓越性」を確認し、教育出費の増加を公約した。11日、新しい刑事裁判・警察法により、未成年に対するアルコール販売の防止、子どもの夜間外出禁止の年齢引き上げ、常習性の非行青年をめぐる規定の強化などが盛り込まれた。NUTは下院の教育特別委員会のOFSTEDに関する報告書が、OFSTEDの視察によって生じる教師のストレスに留意していることを歓迎した。14日、下院が解散された。16日、NUTは労働党の教育を優先する選挙綱領を歓迎しながらも、総合制中等教育の原則は維持されるべきだと主張した。21日、イングランド児童権利同盟は他の団体とともに投票年齢を16歳に引き下げよという要求を行った。23日、労働党は教育選挙綱領を発表し、10の公約を明らかにした。

## <6月>

7日行われた総選挙で「学校と病院」の改革を主張する労働党が「家族の再生」を訴えた保守党に大勝する。8日、ブレア首相は教育雇用省と社会保険省を再編して、新たに教育技能省DfESと勤労・家庭・年金省とすることを発表、教育技能大臣にはこれまで学校水準担当閣外相だったエステル・モリスが昇格、学校水準担当閣外相にはステファン・ティムズ、生涯学習・高等教育担当閣外相にはマーガレット・ホッジ、幼児教育・学校水準担当政務次官にパロネス・アシュトン、成人技能担当政務次官にジョン・ヒーリー、青年・学習担当政務次官にイヴァン・ルイスが就任した。12日、モリスは資格・カリキュラム機構QCAのデヴィッド・ハーグリーヴズにASレベル試験のレビューに取り組むよう要請した。また教職にある人々に向かい、中等教育の水準の抜本的な改善にむけて政府と協力するよう要請した。首相官邸も中等教育の水準の弾き上げが重要な課題であると強調した。14日、モリスは選択通りの学校に子どもを通わせることのできる親たちが増えていると発表した。20日、国会で女王演説が行われ、中等教育の多様性とより高い水準を目指す教育法案の提案が予告された。また成功校の自治を拡大し、失敗校への働きかけを多様化することが言明された。21日、モリスはビーコンおよびスペシャリスト・スクールがその多様性を通じて卓越性の実現に貢献するだろうと述べた。また教育と生涯学習が公務員の仕事を抜本的に改善する鍵であると

述べた。ホッジは政府の高等教育拡大の方針を確認し、もっと多くの学生たちが大学に入学できるよう夏季学校を開設することを明らかにした。25日、OFSTEDは学校理事のためのガイダンス『学校の管理－改善』を発表した。26日、モリスは16歳で教育・訓練から離れる文化を終わらせなければならないと強調した。27日、タイムズは教育の私営化に反対する意見が広がりはじめているのを指摘、水準の引き上げのためにはLEAと任意制あるいは私的部門との協力が必要であると力説した。28日、OFSTEDは14～16歳の生徒たちに対し勤労経験を提供するプログラムに関する報告書を発表、その積極的な意義を認めた。29日、OFSTEDは教員養成の質に関する4つの報告書を発表した。

### <7月>

2日、モリス教育技能大臣は14歳の生徒の成績をめぐる最初の全国目標を発表した。3日、フェビアン協会が社会的な排除とICTへのアクセスに関する報告書を発表、貧困地域におけるICTへのアクセスの重要性を強調した。34件の新しい独立/公的校間パートナーシップが発足した。特にスポーツの振興を目指すものである。6日、OFSTEDは教育改善活動区域についての年次報告書を発表した。区域内の教育水準の上昇が他の地域よりも著しいことについてタイムズは歓迎する談話を発表した。9日、モリスは学校における破壊的な行為に対処するため、学校からの排除に関する法律の修正と子育てについての諸規則の拡張を発表した。アシュトンが学校の運動場の安全保護を一層強化すると発表した。10日、QCAの代表者であるハーグリーブスはカリキュラム2000のレビューにむけてまず取り組むべき事ごらを発表した。OFSTEDと新設の成人学習視学団が合同で行った3つの継続教育カレッジ視察の報告書が発表され、ばらつきのある結果が報告された。16日、ブレアは教育改革に関する演説を行った。31日、教室における支援スタッフの増加によって教師たちはこれまで以上に教えることに専念できるようになったと発表された。

[以上教育技能省プレス・ノーティス[www.dfes.gov.uk/pns](http://www.dfes.gov.uk/pns)、教育水準局ニュース・リリース[www.ofsted.gov.uk/about/press](http://www.ofsted.gov.uk/about/press) 等より作成。紙面の都合でイングランドに限定。]